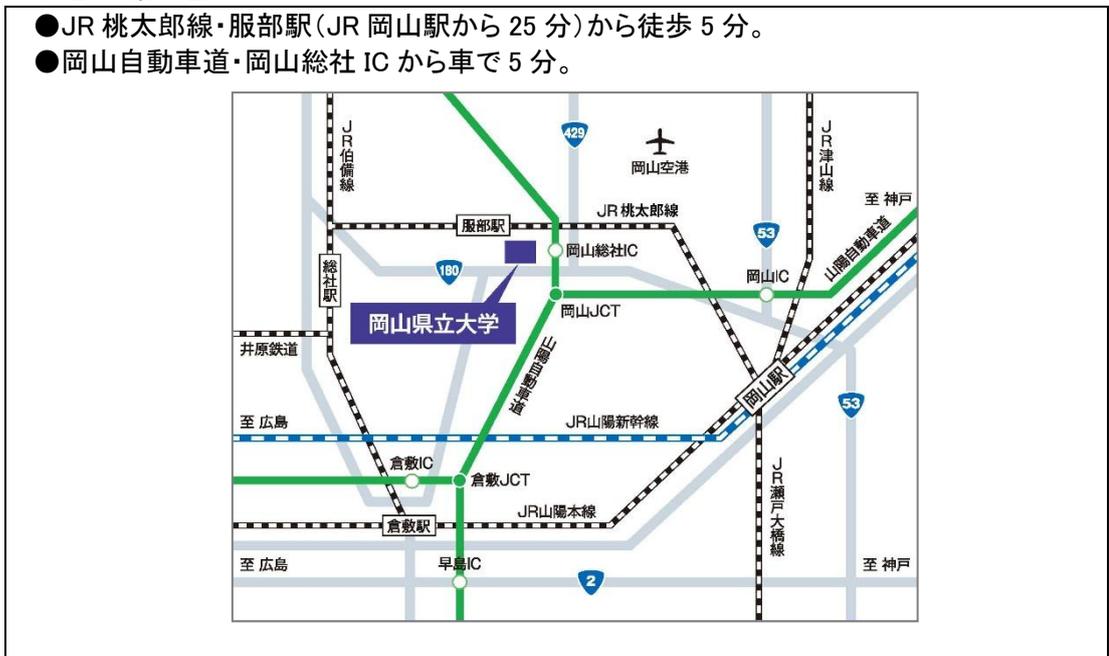


(2)岡山県立大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	第1Q	2026年4月9日	～	2026年6月10日
		第2Q	2026年6月11日	～	2026年8月7日
	後期	第3Q	2026年9月24日	～	2026年11月26日
		第4Q	2026年11月27日	～	2027年2月9日
試験期間	第1Q		2026年6月4日	～	2026年6月10日
	前期・第2Q		2026年8月3日	～	2026年8月7日
	第3Q		2026年11月19日	～	2026年11月26日
	後期・第4Q		2027年2月3日	～	2027年2月9日
授業時間	1限		8:40	～	10:10
	2限		10:20	～	11:50
	3限		12:40	～	14:10
	4限		14:20	～	15:50
	5限		16:00	～	17:30

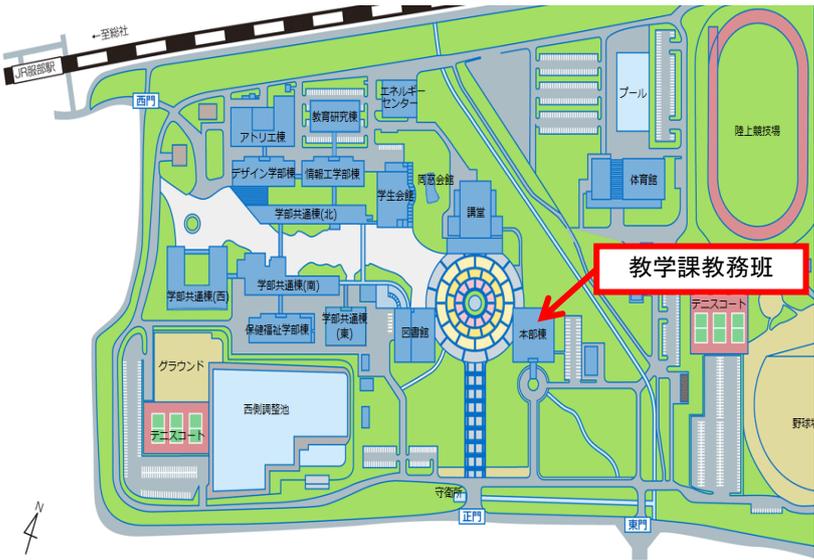
② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教学課教務班

所在地:



電話: 0866-94-2111(代表)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、本部棟教務班窓口へ初回授業時に必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ①履修案内(抜粋)
- ②シラバス(該当科目)
- ③単位互換履修生証明書
- ④OPU-ID 等通知書
- ⑤「はっとりん」説明書
- ⑥キャンパスマップ

2. 自動車通学を希望する場合は、許可が必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

・ 施設利用

岡山県立大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

(岡山県立大学HP→大学案内→教育情報の公表→授業科目、授業内容、授業計画に関すること)

・遠隔授業科目

遠隔授業(教養教育科目)				02101
社会連携要論			岩満 賢次	
The Elements of Social Cooperation				
1～4年次	1単位	第2Q	1コマ	
<p>【授業概要】 人生の移行期にいる大学生が、そのキャリア形成においてより豊かに成長していくためには、サービスラーニングを実践していくことが重要である。社会や地域のなかにある諸課題を取り上げながら、社会や地域を創生していく体験が学生の成長には必要である。そのため、大学生がサービスラーニングに参画することが重要となる。本講義では、学生がキャリア形成を行う上で、社会連携活動を通じたサービスラーニングの実践を学ぶことにより、社会や地域の諸問題を発見し、どのように解決に向けたアプローチを形成していくかという方法論の基本的視点を習得していくことを目的としている。</p> <p>なお、本講義は岡山県立大学副専攻岡山創生学の基礎科目である。</p>				
<p>【授業目的】 本講義は、社会連携要の基本的な概念とその意味、サービスラーニングの実践方法を理解することを目的としている。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.高等教育における社会連携教育の導入 2.学生の成長と社会連携教育 3.社会連携教育におけるサービスラーニングの意義の理解 4.社会連携教育におけるサービスラーニングの実践事例の理解 5.SDGs の概念と社会連携 6.SDGs 推進の取り組み①NPO・ボランティアの役割 7.SDGs 推進の取り組み②企業の役割 8.SDGs 推進の取り組み③行政の役割 				
<p>【テキスト】 岩満賢次(2023)『社会連携要論:学生と社会をつなぐ新しい教育』DTP出版 その他資料を配付することがある。</p>				
<p>【参考図書】 岡本榮一監修『ボランティアのすすめ』ミネルヴァ書房 赤澤清孝ら編『新・学生のためのボランティア論』社会福祉法人大阪ボランティア協会 岡山県社会福祉協議会監修『「無理しない」地域づくりの学校』ミネルヴァ書房 その他、受講生の興味関心に応じて紹介する。 外部講師より紹介する場合もある。</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み状況(授業時の課題)(40%)、期末レポート(60%) ※岡山県立大学以外の学生が授業を希望する場合は授業後の録画配信となります。 授業をそのまま録画しますので、クオリティは保証できませんのでご了承ください。</p>				

・対面授業科目

対面授業(専門教育科目)				02001																
国際家族政策論			近藤 理恵																	
International Family Policy																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】</p> <p>本科目では、各国の福祉レジームと家族政策の類型について示した後、日本を含めた各国の家族政策の全体像について講義する。その上で、①ワーク・ライフ・バランス、②ひとり親家族、③子ども虐待、④フォスター・ケア、⑤パートナー間のドメスティック・バイオレンス、⑥国際結婚家族に関する政策とファミリー・ソーシャルワークについて講義し、最終的には今後の日本の家族政策のあり方について検討する。本科目の目的は、各国の家族政策と日本の家族政策とを比較し、今後の日本の家族政策のあり方について理解することにある。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型</td> <td>9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)</td> <td>14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク</td> </tr> <tr> <td>8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク	8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	
1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク																			
8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																				
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する。</p>																				
<p>【参考図書】</p> <p>近藤理恵著『日本、韓国、フランスにおけるひとり親家族の不安定さのリスクと幸せ』学文社、2013年</p> <p>中嶋和夫監修、ユン・ジョンズ、近藤理恵編『多様な家族時代における新しい福祉モデルの国際比較研究』学文社、2010年</p> <p>中嶋和夫監修、ユン・ジョンズ、近藤理恵編『グローバル時代における結婚移住女性とその家族の国際比較研究』学術出版会、2013年</p> <p>中嶋和夫監修、尹靖水、岡田節子、近藤理恵編『多文化家族における家庭内暴力と福祉的介入の国際比較研究』Bookway、2016年</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>中間レポート(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。</p>																				

対面授業(専門教育科目)				02002
サービスマーケティング論			喜村 仁詞	
Service Marketing				
2~4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 サービスマーケティングに関する知識を事例等を用いることで理解を深める。初めにマーケティングの基礎知識を身につけ、その上でサービスについて学ぶことで、サービスが持つ特性に応じた顧客とのコミュニケーションを理解することを目的とする。				
【授業内容】 1.ガイダンス・マーケティングとは？ 2.価値って誰が決めるのか？ 3.消費者の購買行動の法則 4. SWOT 分析(環境を理解する) 5. STP・4P(売れる秘訣) 6.ブランドとは？ 7.グループワーク(1) 8.グループワーク(2) 9.グループワーク(3) 10.伝えるべき内容とは？ 11.ロングセラーの秘訣 12.サービスとは？ 13.サービスの事例(1) 14.サービスの事例(2) 15.ふりかえり				
【テキスト】 特になし				
【参考図書】 特になし				
【成績評価の方法】 レポート(60%)、授業への取り組み状況(グループワーク)(40%)				

対面授業(専門教育科目)				02003
符号理論			榊原 勝己	
Coding Theory				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 デジタル情報を伝達・通信あるいは記録するシステムでは、受信あるいは読み出された情報の信頼性を向上するために、誤り訂正符号の利用は不可欠な要素技術の一つとなっています。講義では、線形代数あるいは論理数学に基づいて構成された誤り訂正符号の基礎理論と、最も簡単な誤り訂正符号であるハミング符号の論理回路による実現について学びます。また、誤り検出符号を利用した様々な自動再送制御方式の概要とその違いや性能を学習します。				
【授業内容】 1.通信路雑音の原因、ビット誤り率 2.誤り訂正符号の原理(繰返符号、ハミング距離、距離の三公理) 3.誤り訂正符号の原理(最小距離と誤り訂正能力) 4.誤り訂正符号の原理(生成行列、検査行列) 5.ハミング符号(生成行列と符号化法) 6.ハミング符号(検査行列と復号法、シンドローム) 7.線形符号(線形空間と誤り訂正符号、符号化法と復号法) 8.線形符号(拡張符号、短縮符号、パンクチャー符号) 9.巡回符号(ベクトル表現と多項式表現、巡回符号の性質) 10.巡回符号(線形符号との対比による符号化法と復号法) 11.巡回符号の符号化回路 12.巡回符号の復号回路 13.様々な誤り訂正符号 14.自動再送制御方式 15.ハイブリッド ARQ 16.定期試験				
【テキスト】 使用しない				
【参考図書】 ★「[改訂新版]やり直しのための工業数学(情報通信編)」三谷政昭(著)、CQ出版 ★「C言語による情報理論入門」久保田一、大石邦夫、福本昌弘(著)、コロナ社 ★「情報・符号・暗号の理論入門」守屋悦朗(著)、サイエンス社 ★「情報伝送と符号の理論」岩垂好裕(編)、オーム社 上記全て、本学附属図書館に書籍が所蔵されています。				
【成績評価の方法】 定期試験(70%)、小テスト(20%)、振返メモ(10%)				

対面授業(学部教育科目) ※リアルタイムオンライン併用可(期末試験を除く)				02004
設計工学・生産システム			妻屋 彰	
Design Engineering and Manufacturing Systems				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 ものづくりにおいては、要素技術に加えてそれらを活用し組み合わせることによって、「なにを」「いつ」「どのように」つくるのか、ということが重要である。近年のものづくりを取り巻く状況の変化により、設計や生産などのものづくり技術についても、体系化が必要となってきた。本講義では、製品やサービスなどのシステムの設計開発および生産システムや生産管理に関する工学の基本的な理論・方法論・方法を修得することを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 1.人工物・ものづくりの歴史と進化 2.製品/システムの計画・価値・評価 3.プロジェクト・スケジューリング 4.設計の理論・方法論1(設計プロセスとドイツ流設計方法論1) 5.設計の理論・方法論1(設計プロセスとドイツ流設計方法論2) 6.設計の理論・方法論1(設計プロセスとドイツ流設計方法論3) 7.設計の理論・方法論2(公理的設計論) 8.問題解決プロセスとその方法 1 9.問題解決プロセスとその方法 2 10.生産システム 1 11.生産システム 2 12.生産管理 1 13.生産管理2 14.生産管理3 15.現代のものづくり 16.期末試験</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しない。適宜資料を配布する。</p>				
<p>【参考図書】 参考文献は講義中に適宜紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 定期試験(70%)、演習及びレポート(30%)</p>				

対面授業(専門教育科目)				02005
環境生理学			大下 和茂	
Environmental Physiology				
2~4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 人体の構造と機能 I および II により得られた知識を応用し、様々な環境に対してヒト(人)の生理機能がどのような反応・適応変化するかについて理解する。また、何故そのような変化が存在するのかについて、時間軸・空間軸的な観点から理解を深める。				
【授業内容】 1. オリエンテーション 2. 環境(物理的要因)への適応① 3. 環境(物理的要因)への適応② 4. 環境(物理的要因)への適応③ 5. 環境(物理的要因)への適応④ 6. 環境(物理的要因)への適応⑤ 7. 環境(物理的要因)への適応⑥ 8. 中間テスト 9. 日常行動と生理機能① 10. 日常行動と生理機能② 11. 日常行動と生理機能③ 12. 日常行動と生理機能④ 13. 日常行動と生理機能⑤ 14. 環境と生理機能の課題 15. 定期試験 16. 授業総括, 予備日				
【テキスト】 使用しない				
【参考図書】 「生理人類学一人の理解と日常の課題発見のために」 安河内朗、岩永光一 理工図書 「人間科学の百科事典」 日本生理人類学会 丸善出版 「生体のしくみ標準テキスト(第3版)新しい解剖生理」 高松研、堀内ふき 医学映像教育センター 「標準生理学」 本郷利憲、廣重力、豊田順一 医学書院				
【成績評価の方法】 期末試験(80%)、授業への参加・取り組み状況(20%)				

対面授業(専門)				02006
森林生態学・地盤工学			穂苅 耕介	
Forest Ecology and Geotechnical Engineering				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 建築することは、人間と自然との関係を再構築する行為といえる。気候変動による多くの災害やパンデミックに直面している現代社会において、環境の正しい理解なしに建築を考えることは不可能で、森林や生態系に対する正しい理解が必須となっている。また、戦後の建設資材としての製材増産のための自然林から人工林への転換、および経済合理性優先の森林伐採や土地開発などによる生態系の改変、里地里山の管理放棄が、現在の気候変動による災害の甚大さをもたらすとともに、野生鳥獣による被害なども大きな要因のひとつになっている。本科目はキャンパス内に生育する主な樹木について、樹形や葉のスケッチを通して植物の特徴や役割を知るとともに、代表的な景観の見方を学ぶ体験も加えることにより、森林や生態系について基本的な知識を修得し、環境の正しい理解から導かれる建築デザインについて、環境を配慮して考えられようになる素地を養うことが目的である。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. キャンパス内散策 3. 森林と人類の歴史 4. 植物の基礎知識 5. 植物と環境 6. 世界のバイオーム 7. 日本の歴史と森林 8. 日本の原生林(自然植生) 9. 日本の里地里山(代償植生) 10. 日本の森林の現状 11. 身近な樹木の知識とスケッチ「どんぐり」・「くす」・「ばら」 12. 身近な樹木の知識とスケッチ「にれ」・「かえで」・「つばき」 13. 生態系の基礎知識 14. 生態系の保全と生物多様性 15. 生態系に配慮した地域環境の設計 				
<p>【テキスト】 教科書は使用しない。 提供するテキストをダウンロードして、ノートパソコンなどで閲覧する。</p>				
<p>【参考図書】 林 将之「山溪ハンディ図鑑 14 増補改訂 樹木の葉」山と溪谷社 2020 本学附属図書館に電子ブックが所蔵されています。 林野庁「森林・林業白書」(林野庁ホームページで電子データが公開されています。) 岡山県「21おかやま森林・林業ビジョン(改訂版)」 (岡山県ホームページで電子データが公開されています。)</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業態度・意欲(10%)、スケッチ課題(45%)、総括レポート(45%)</p>				

対面授業(副専攻科目)				02007
木構造学・木構造デザイン			向山 徹	
Structure and Design in Wooden Buildings				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 建築構造の中の、木構造についての基本的な考え方に習熟すると同時に、構造的観点からのデザインについて、実例を通じて学び、木造で建築を考える感覚を涵養する。				
【授業内容】 1. ガイダンス 2. 古建築の木構法 1 3. 古建築の木構法 2 4. 古建築の木構法 3 5. 古建築の木構法 4 6. 古建築の木構法 5 7. 古建築の木構法 6 8. 中間のまとめ 9. 木構造デザイン 1 10. 木構造デザイン 2 11. 木構造デザイン 3 12. 木構造デザイン 4 13. 木構造デザイン 5 14. 木構造デザイン 6 15. これからの木構造デザインとは				
【テキスト】 教科書は使用しない				
【参考図書】 日本建築史図集(日本建築学会刊)				
【成績評価の方法】 授業態度(20%)、各回レポート(80%)				

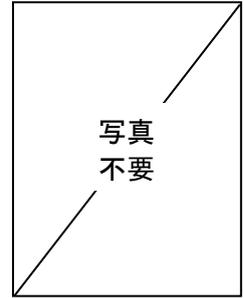
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山県立大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな				
氏名				



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	生年 月日	西暦		年	
		昭和・平成		年	月
現住所	〒 - Tel () -				
メールアドレス	@ (大学で付与されたメールアドレスを記入してください)				

* 履修受付締切日: 前期: 4月3日(金)まで 後期: 9月11日(金)まで

* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
02101	社会連携要論	教養	岩満 賢次	1	第2Q	1~4	オンデマンド配信	水 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
対面授業科目										
02001	国際家族政策論	専門	近藤 理恵	2	前期	3~4		木 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02002	サービスマーケティング論	専門	喜村 仁詞	2	前期	2~4		金 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
02003	符号理論	専門	榑原 勝己	2	後期	3~4		金 8:40~10:10	<input type="checkbox"/>	
02004	設計工学・生産システム	専門	妻屋 彰	2	後期	3~4	オンライン併用可 (期末試験を除く)	火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02005	環境生理学	専門	大下 和茂	2	前期	2~4		火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02006	森林生態学・地盤工学	専門	穂苅 耕介	2	前期	3~4		木 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02007	木構造学・木構造デザイン	専門	向山 徹	2	後期	3~4		火 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚